



講座レポート

夏休み最後の思い出づくりに
家族そろって教室に参加！

毎年開催している父と子の料理教室。今回は夏休みの思い出づくりにと、パパとママ、子どもたち、家族そろって参加できる「パパと子のクッキング & ママのフラワーアレンジメント教室」を実施しました。参加者は6組19名の家族。ママがフラワーアレンジメントをしている間に、子どもたちはパパと協力して、サラダや麻婆麺などを調理しました。講師の熊本友の会から「包丁を使うときは猫の手でね！」など、ポイントを教わってから調理スタート。パパが見守る中、慣れない手つきながらも子どもたちは一生懸命、食材を切る作業にも挑戦していました。S料理が出来上がったら、ママも加わってのランチタイムです。最初は不安げだったママも、目の前に並んだ料理に大喜び！家族そろって食卓を囲み、会話ははずんでいたようでした。



参加者の声

- 野菜を上手に切れて楽しかったです。(小学生)
- 今回の教室に参加したことで、料理に興味を持つことができました。(父)
- フラワーアレンジメントをあしらったステキな麦わら帽子が完成しました。この帽子をかぶって、お出かけするのが楽しみです。(母)

パパと子のクッキング
& ママのフラワーアレンジメント教室

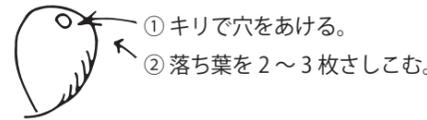
開催日：8月25日(日)
講師：熊本友の会
対象：小学生とその保護者
場所：食のアトリエほか

作ってみよう



いろいろな落ち葉や木の実をさがして、
親子であそびましょう~♪

「ドングリひこうき」



- ① キリで穴をあける。
- ② 落ち葉を2~3枚さしこむ。
- ③ つまようじにボンドをつけ、穴にさしてとめる。
- ④ ダーツのように、とばしてみましょう！



「小枝とドングリのおきもの」



- ① ドングリに顔を描く。(マジック・修正ペンなど)
- ② ボンドをつけて、小枝に飾る。

親子で参加！

よんでよんでの会

はあもにい 1階幼児室で毎月開催している「よんでよんでの会」。飛び入り参加大歓迎！館内の情報資料室で人気の絵本の読み聞かせをはじめ、楽しい手遊びや紙芝居もありませんよ。親子で楽しく参加できます。ぜひ気軽にお越しください。



日時：10月1日(火) 11:00~(30分程度)
内容：手遊び・紙芝居・読み聞かせ・触れ合い遊びなど
場所：1階はあもにい幼児室
参加費：無料
定員：保護者と未就学児のお子さん20人程度

情報資料室より
おすすめの本

今月のテーマ：パパの子育て

フィンランドのイクメン事情



フィンランド流イクメンMIKKOの世界一しあわせな子育て
ミッコ・コイヴマー／著
(かまくら春秋社)

フィンランドのイクメン事情。フィンランドは、子育ての環境が浮かび上がってきます。家族を大切に思う気持ちが溢れていて、子育ての中の方、これから積極的に関わっていききたい方へのヒントにもなるはず。観光ガイドや雑貨も写真付きで紹介され、フィンランドに訪れてみたくなる本です。

館長室より



ひんやりとした秋風が吹く、心地よい季節になりました。当館ではこの夏、大学生のインターンシップを複数人受け入れましたが、その際に女子学生と交わした会話の中で印象に残ったのは、『若い人たちに専業主婦願望がある』という話でした。

若い人たちにその傾向が見られるということは、既に様々な報告の中で知ってはいたものの、やはり事実を目の当たりにすると、一体どうして？と、耳を疑ってしまいました。国を挙げて「2020年30%」という、2020年までには、あらゆる分野の指導的立場に立つ女性の割合を30%までに引き上げようという

目標を掲げ、女性の活躍を後押しする動きが進められる中、この考えは、時代の流れに逆行しているのではないかと…。

どうやらきびしい経済状況の下、『男は仕事、女は家事』という日本特有の役割分業意識が若い世代にも未だ根強く残っていることが、専業主婦願望を抱かせてしまっている理由でもあるようです。これでは未婚化が進み、日本における少子化はさらに深刻化するのでしょうか。

女性の活躍が望まれる今こそ、『不安定な時代だからこそ、共働きで乗り切っていく！』そんな前向きな意識改革が必要なのだと思います。若い世代への男女共同参画啓発の必要性を強く感じているこのごろです。

館長 藤井 有貴子